

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 夜間リハビリパンツをいじり、尿、便の失禁を毎晩のようにしている。 手袋、つな着を着用させる等の意見も聞かれた。	今後も身体拘束を行わないケアを実践していく。	今日まで一度も身体拘束をしたことがないため、今まで通りの対応をしていく。	1か月
2	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 日常生活自立支援事業、成年後見制度を利用されている利用者がいる。	利用者が日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用できるよう、今後も支援を行っていく。	問題になりそうな利用者もいるため、今後も支援を進めていきたいと思う。	6か月
3	18	○本人と共に過ごし、支え合う関係	利用者の希望や思いを聞き、どのようなことを求めているか把握する。	日常の会話の中で、利用者の思いや意外性に気づかせていただきながら、実現に向けた取り組みを実践していきたい。	3か月
4	34	○急変や事故発生時の備え	一人ひとりの体調管理と最小限度の対応方法は看護師から指導を受けているが、今後も慌てずに対応できるよう取り組む。	連絡の順番をしっかりと把握し、慌てずに対応していけるように、職員全員で周知する。	3か月
5	47	○服薬支援	服薬時は利用者の確認と日付、薬を最後まで飲みきるのを見守り、適切な支援を行う。	利用者の体調を把握し、誤薬がないよう、薬の変更時の引き継ぎや話し合いをきちんと行う。	1か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。